



## 1学期を終えるにあたり

梅雨明けも例年になく遅く、晴れない日が続いております。平素は聖母の小さな学校の教育にご理解、ご協力をいただき、深く感謝いたします。

さて、本校も、本日7月30日、1学期の終業式を迎えます。今学期は、新型コロナ感染防止に対応し、府教委、市教委の措置に準じて教育活動を行いました。ご承知のように本校は、不登校の中でもなかなか外に出られない、あるいは、稀に外には出られるが学校には行けない「引きこもり傾向」の子どもたちが在籍しています。従って、多くの体験活動を取り入れ、一人ひとりに行動を促し、その行動を継続させ、日常生活を正常なものに整えることをしてきました。行動の継続は、意志を生み、意欲を育みます。保護者の忍耐強い支えもあり、約2年ぶりに聖母に登校できた生徒、また、仲間との学習に参加できるようになった生徒、積極的に学習に取り組み、毎日の宿題に意欲的になった生徒など、一人ひとりの今の課題を一つ一つこなしていくようになりました。

また、生活の整いや行動の継続は、生徒の内面に確実に構造化され、認知構造も成熟し、目的を持った知的活動の基になり、発展的に考えられるようになりました。生徒たちの好ましい小さな変化を保護者、原籍校と共有し、一歩ずつ歩んだ1学期でした。

また、感染防止の観点から休校せざるを得ない日もありましたが、「朝起きる → 食事をする → 家の手伝いをする → 宿題をする → 寝る」という1日を「生活記録」として毎日自分で記録したことは、自分自身の生活を可視化し、自分で点検することができ、生活の正常化につながりました。併せて、本校の教育の柱である「自己を見つめる」ことにもつながりました。今の自分を丁寧に見ると、「人」を意識することができ、「関わり」を求めるようになったと思います。いずれにしても、本校が子どもにとり、社会に開かれた良い生活習慣を作る、あるいは、希望を持って人へ、社会へ橋を架ける力を身に着けることができる現代社会の中の装置としての役割を少しでも果たせたことをうれしく思います。1学期、原籍校はじめ、多くの方々にご協力いただき、ありがとうございました。心から感謝申し上げます。

<今学期お世話になった先生方>

茶道（青木 妙子 先生：コロナ禍で中断中）

華道（山中 知昌 先生）

陶芸（舞鶴市陶芸館）

音楽（北浦 弘治 先生）

体育（渡邊 弘 先生）

数学（江宮 文夫 先生）

校外歴史学習（山下 正 先生）

中国語（舞鶴市国際交流員：コロナ禍で中断中）



2学期は8月19日を始業と致します。予定表にある通り、夏休み中も登校日を設けます。また、保護者には、聖母との面談をお取りくださるよう、お勧めください（聖母に在籍していなくても可）。どうぞ、よろしく願いいたします。